

小向もゆる先生の JAZZLES 英語レッスン

今話題のネイティブも学ぶ英語フォニックス教材、

「Jazzles(ジャズルス)」をご存じですか？

ジャズミュージシャンのもゆる先生と一緒に

Jazzles の歌を歌って、楽しく英語を学びましょう。

日時：2018年10月13日（土）午後2時～3時 ※常磐祭（学園祭）開催日

講師：小向 もゆる 先生

12～14歳を米国カンザス州現地小中学校に通う。現在はジャズミュージシャンとして活躍しながら、都内・横浜の民間学童保育でジャズルス講師を務める。アプリの開発にも携わった。ジャズルスの歌が大好き。



場所：実践女子大学渋谷キャンパス 806 教室（8F）

内容：アメリカやオーストラリアの公立小学校でも導入されている子ども向け英語教材「Jazzles（ジャズルス）」の歌を歌ったり、ゲームをしたりして楽しく英語を学びます。

対象：小学校1年生から4年生

定員：20名（先着順）

会場の地図、学園祭案内
はこちらから

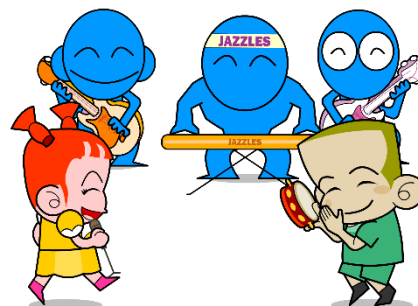
常磐祭特設ページ



- ・参加費は無料です。
- ・当日午後1時45分までに直接会場にお越しください。
- ・保護者の方は、教室でレッスンを見学していただけます。
- ・参加するお子様は動きやすい服装でご参加ください。
- ・必要に応じてお子様のお飲み物をご用意ください。

お問い合わせ先：英語コミュニケーション学科 三田 薫

mita-kaoru@jissen.ac.jp



JAZZLESについて

もゆる先生に

聞いてみよう!



Q 子ども向け英語教材「Jazzles」とは？

——「Jazzles（以下ジャズルス）」は、オーストラリア生まれでアメリカ育ちの英語教材です。英語教師で、作詞・作曲家でもあるレスリー・ベスさんが、長年のキャリアの中で「どうしたら子どもたちが楽しく学べて記憶に残るか？」を考え抜いて、創作されました。Aの歌～Zの歌まで各アルファベットのオリジナルソングが26曲あり、楽しく歌っているうちに、英語の文字と音の関係（フォニックス）を学べるのが特徴です。

Q どこで使われているの？

——もともとジャズルスは、ネイティブが英語を学ぶためのツール。実際にアメリカとオーストラリアの公立小学校でも国語教材として採用されており、「聞く・話す」から「読み・書き」まで、レベルに応じた使い方ができます。



Q ジャズルスの歌の特徴は？

——アルファベットソングは1曲あたり2分ほど。耳に残るメロディーとストーリー仕立てのアニメーションで構成されています。歌には、各アルファベットではじまる単語がたくさん出てきて、基本フォニックスが習得できます。



Q 他の子ども向けの歌との違いは？

——フォニックスはもちろん、英語を学ぶ上で避けて通れない単語（サイトワード）が豊富なことです。ジャズルスは子どもが覚えるべき頻出サイトワードの75%も網羅しているため、ここで基礎を固めておけば、どんな児童書も読めるようになります。ジャズルスには口語表現のほか、実用センテンスがたくさん入っているので、覚えたら動詞や名詞を入れ替えるなどの応用ができます。また、幅広いジャンルの音楽に触れ合える点も魅力です。歌を覚えたら英語だけでなく世界の文化や地理、自然科学など、教養も学べる曲がたくさんあり、音楽として優れています。

Jazzles公式



サイト

「3分で読める知育マガジン」

(<https://chiik.jp/articles/xicPx>) より抜粋

←ジャズルス公式サイト (<http://www.jazzles.jp/>)